

2012年4月2日

世界約70の国と地域から選ばれた高校生が集結

『第44回国際化学オリンピック・アメリカ大会』日本代表が決定！

ワシントンD.C.にて、7月21日(土)～30日(月)まで開催

「夢・化学-21」委員会
公益社団法人 日本化学会

世界中から選ばれた高校生が集まり、化学の実力を競い合う「国際化学オリンピック」。このほど、今年の7月21日(土)～30日(月)にアメリカ合衆国のワシントン D.C.で開催される『第44回国際化学オリンピック・アメリカ大会』に出場する日本代表生徒4名が決定しました。代表に選ばれたのは以下の4名です。

加藤 雄大 (かとう たけひろ)	筑波大学附属駒場高等学校 3年(17歳)
澁谷 亮太 (しぶや りょうた)	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎 3年(17歳)
副島 智大 (そえじま ともひろ)	立教池袋高等学校 3年(17歳)
山角 拓也 (やまかど たくや)	灘高等学校 3年(17歳)

※50音順。学年、年齢は2012年4月2日現在

※4名のほかに次席として以下の2名を選出

稲生 宏泰 (いのう ひろやす)	筑波大学附属高等学校 3年(17歳)
重田 太郎 (しげた たろう)	浅野高等学校 2年(16歳)

「夢・化学-21」委員会と公益社団法人 日本化学会では昨秋、「全国高校化学グランプリ 2011」の成績優秀者21名、及び日本化学会の支部から推薦を受けた1名、さらに山形大学と日本化学会東北支部が実施した「がんばろう、東北」枠選考試験から選出された5名の計27名の高校2年生、1年生を、今年の国際化学オリンピックの“日本代表候補生徒”として認定しました。続いて本年1月6日に第1回選抜試験(筆記)を実施し、12名を“日本代表最終候補生徒”として選出しました。そして3月27日～3月30日に東京農工大学で最終選抜合宿を実施し、実際のオリンピックを想定した筆記試験と実験試験による最終選抜を行って、日本代表生徒4名を決定しました。日本代表に選ばれた生徒たちは大会開幕までの間、日本化学会の化学グランプリ・オリンピック委員会オリンピック小委員会(委員長:米澤宣行東京農工大学教授)が実施する合宿を含む特別指導を受け、大会本番に向けさらに研鑽を積んでいきます。

◆日本代表生徒 今後のスケジュール

- 4月28日(土)～30日(月) 第1回強化訓練合宿(武蔵大学)
- 5月26日(土)～27日(日) 第2回強化訓練合宿(秋田大学)
- 6月23日(土)～24日(日) 第3回強化訓練合宿(調整中)
- 7月19日(木) 代表壮行会
- 19日(木)～20日(金) 直前合宿
- 21日(土)～30日(月) 『第44回国際化学オリンピック アメリカ大会』



アメリカ大会ロゴマーク

「国際化学オリンピック」は、毎年7月に10日間、70余りの国と地域から300名近くの優秀な高校生が一堂に会し、筆記試験と実験試験で化学の実力を競い合うと同時に、各国間での交流を深めることを目的に開催されています。2011年にはトルコのアンカラで開催され、日本代表生徒は、金メダル1個、銀メダル3個という成績を収めました。